



12月ほけんだより



認定こども園
あゆのさと
2023.12.1
看護師 雨宮・石黒



朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。本格的な冬を前に、コロナウイルスやインフルエンザに加え、感染性胃腸炎(ノロウイルス)などの感染症の流行は冬を中心に起こります。基本的な対策を再確認し、冬の感染症に負けず、元気に過ごしましょう。

グツグツ ねっ はな水 ギリ

お腹痛い **登園のめやす** せき

登園させるかどうか、一番目安となりやすいのは「熱があるかどうか」だと思います。「いつもと様子が違うが、熱はないので登園させよう。」と思う時もあるでしょう。この場合は熱の有無も大切ですが、一番は子どもの様子です。食事がとれない、元気がない、横になりたがるなどの時は休養しましょう。こども園で他の園児と同様のことができそうかどうかを考えて判断しましょう。

次のような場合には、休養するか、病院を受診してからの登園をお願いしています。

- ① 下痢をしている(24時間以内に2回以上)
- ② 嘔吐した(24時間以内に2回以上)
- ③ 熱が出た(24時間以内)
- ④ 咳や鼻水がすごい
- ⑤ お腹が痛い
- ⑥ 発疹が出ている
- ⑦ 機嫌が悪い、元気がなく顔色が悪いなど様子が気になる時

※①～③は、症状を繰り返すことも多いため、状態が落ち着いても、24時間はご家庭で様子見をお願いしています。

こども園での集団生活は、元気な子どもが中心です。体調がすぐれないお子さんには負担になります。登園マナーを守って、楽しく元気に過ごせるようご協力をお願いします。

内科健診・歯科検診について

内科健診、歯科検診が無事終了しました。内科健診は全員異常なしでした。歯科検診の結果についても個別にお知らせをさせていただきました。虫歯の子は少なく、歯もきれいに磨けていました。

感染性胃腸炎が心配される季節です

ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが原因の症状としては、おう吐や下痢、腹痛、発熱などがあります。原因菌によっては、血便や激しい腹痛を起こすこともある、感染する病気です。「食べ過ぎ」「ただのおなかの風邪」と自己判断せず、必ず医師の診察を受けましょう。

また、保健所の助言と指導により、園内での汚染を“ひろげない”ためにも、おう吐物などがついた衣類は、二重にしたビニール袋に入れて、持ち帰ってまいります。そのままお返しするのは、大変心苦しいのですが、園内での二次感染を防ぐため、ご理解とご協力をお願いします。



■ □ **お願い 古タオルを集めています** □ ■

園内でウエスなどに使用する古タオルを集めています。ご家庭で不要になった **タオルハンカチ・ハンドタオル・フェイスタオル・バスタオル**がありましたら、ご協力をお願いします。玄関ホールに設置した箱に入れてください。

幼児クラスで、“スキンケア”に関する絵本『かゆいの、かゆいの、ばいばーい』などを読みました。乾燥の気になる季節です。ぐるぐる図書館にありますので、興味のある方は読んでみてください。

